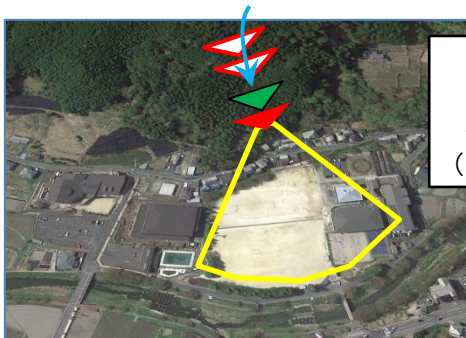
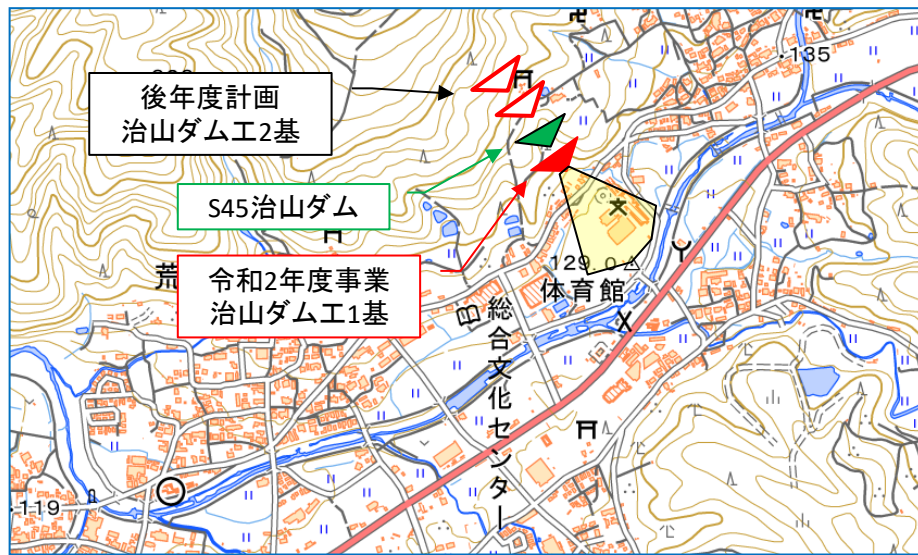


事業名	治山事業(予防治山)	事業概要	全体計画	①総事業費 98,000千円 ②事業目的 山地災害の予防 ③事業内容 治山ダム工3基 ④事業期間 令和2年度～令和3年度			
地区名	綴喜郡宇治田原町岩山 地内		元年度当初までの実績	-			
事業主体	京都府		2年度(補正含)計画	①総事業費 35,000千円 ②事業内容 治山ダム工1基			
現況等	過去に発生した豪雨災害による溪岸侵食により、不安定な砂礫が堆積しており、今後の豪雨により下方保全対象である維孝館中学(町指定避難所)や人家に甚大な被害を及ぼす危険性がある。		負担割合	国:50%,府:50%,市町村:-%,その他:-%			
事業効果	土砂流出対策として治山ダム工等を設置し、山地災害を未然防止することで、安心安全な生活基盤を確保する。	年度区分	年度	R元当初まで	R元補正	R2	R3以降
コスト削減	府内産間伐材製品(木製残存型枠等)を積極的に使用し、社会的コスト(ライフサイクルコスト)の縮減に努める。		事業費(千円)	-	-	35,000	63,000
環境・景観への配慮	木製残存型枠等の木製品を積極的に使用し、生態系や景観に配慮する。						



全景
保全対象
維孝館中学
(指定避難所)



R2治山ダム工計画箇所



治山ダム(S45)下流の荒廃が進む



治山ダム工完成イメージ